

子供と共に考える進路(キャリア)

千葉県教育委員会

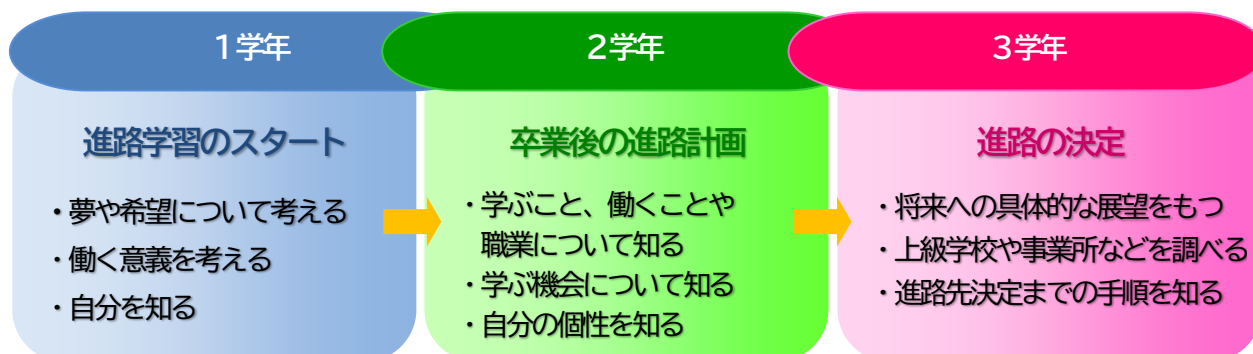
子供たちは中学生になると体や心が目に見えて成長し、頼もしくもなり、将来が楽しみになってきます。しかし、目の前に迫った進路(キャリア)の選択・決定に関しては、まだまだあいまいで、分からないことも多いのではないのでしょうか。

子供の進路(キャリア)について、「保護者としてどのように関わっていけばよいのか」という視点で、この資料を作成しました。

将来の夢や生き方を考える進路学習

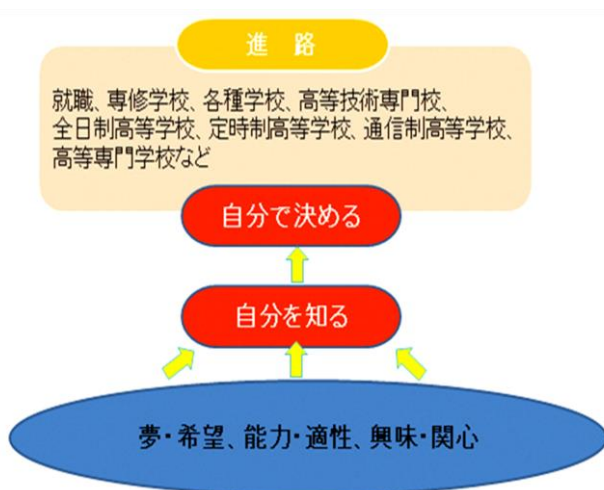
子供たちには、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、社会的・職業的自立を目指し、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることが必要であり、これは生涯にわたり、あらゆる機会を通じて行う必要があります。

学校では、夢や希望の実現へ向けて、生徒が自らの生き方を考え、将来の進路設計ができるように進路の学習を進めています。



Q1

進路の選択はどのようにしたらよいのでしょうか？



A1 一般的に中学校卒業後の進路というと「高等学校への進学」すなわち「進学」と考えられているところがあります。その結果、「入学できそうな学校選び」となる傾向があります。このため、本人の興味・関心や適性等が軽視され、進路先での目標を見出せず、中途退学者が出るなどの問題も起きています。本来、進路選択・進路決定は夢・希望、能力・適性、興味・関心等を総合的に判断してなされるべきものです。

現在そして将来にわたって、子供たちが、真の「生きる力」を身に付けるために、「入学できそうな学校」ではなく、将来の進路を見据えた主体的な進路選択、「行きたい学校・行きたい職場」の選択が大切です。

進路の選択に備えて、

保護者はどんなことを考えたらよいでしょうか？

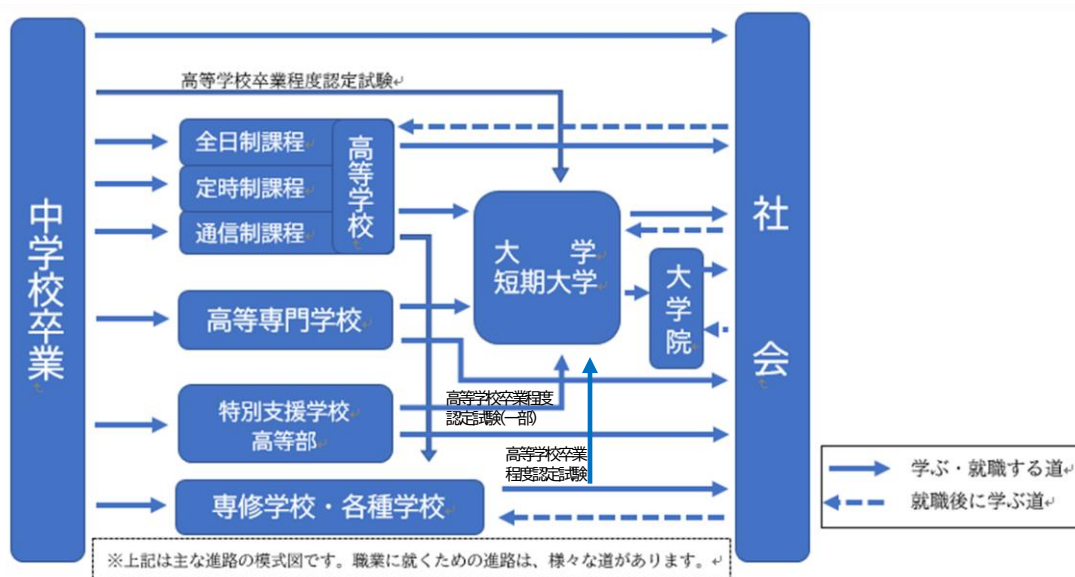
A2 進路の選択に備えて、次のような点に留意してみましょう。

1 子供に生き方を考えさせる

子供が進路を選択・決定する際に、将来どのように生きるのかを考えさせることが大切です。それは、希望を実現するために、今何をなすべきかという現在の生活の仕方、方向性を導き出すことにつながります。

2 希望する進路のコースを親子で検討する

昨年度、県内では約99%の中学生が高等学校等へ進学しています。しかし、これらの子供たちの中には、「何のために進学するのか」、「進学先で何を学ぶのか」を十分に考慮しないまま進学する人も少なくないようです。将来どう生きるかについて、保護者として助言や支援をすることで、「何のために進学するのか」、「進学先で何を学ぶのか」という目的を明確にもたせることが大切です。



3 保護者の姿勢や期待を振り返る

子供が中学3年生になった今、その将来や進路について、保護者としてどのような姿勢で、どのような期待をかけ、どのように支援するのか、冷静に見つめ直してみましょう。その際、以下のような姿勢が望まれます。

- 子供自身に進路を考えさせる。
- 子供にふさわしい進路を共に考える。
- 適切なアドバイスで、子供の意欲を喚起する。
- 進路に関する見栄や体裁にこだわらない。

4 子供の個性をとらえ進路選択に生かす

将来の進路を考えるにあたっては、子供の「個性」について改めて考えてみるのが大切です。また、上級学校や職業に関する情報を入手し、その情報と子供の個性を照らし合わせ、適性を見定めながら、進路を選択させていくことが大切です。

5 社会の情勢について子供と共に考える

子供によりよい職業希望をもたせるためには、自分の個性や適性など自己理解を深めさせると共に、産業や職業の動向等にも着目させることが大切です。子供たちをとりまく社会が時代と共に大きく変化していることにも留意していく必要があります。

6 子供の意思を尊重して支援する

子供が中学校卒業後の進路先を選ぶことは、自己の進路計画実現の第一歩です。したがって、進路計画が適切なものであるならば、希望する仕事や学校に挑戦する意欲や合格へ向けての努力も充実したものになっていくと思われます。子供の立てた進路計画の検討から、その計画の実現に向けて支援しながら、子供が主体であることに留意し、その意思を十分に尊重した助言が望まれます。

保護者のできることはどんなことでしょうか？

A3 進路先の選択・決定にあたって、次のような点に留意してみましょう。

1 進学や就職する意義や目的を明確にさせる

「何のために、何を求めて進学や就職をしたいのか」を時間をかけて丁寧に話し合う必要があります。具体的には、希望職業に対する本人の能力・適性、興味・関心等や、希望職業と進学したい学校・学科との関連について、最終の確認が必要です。

保護者や身近な大人の経験、生きがいや価値観等を子供に伝えていくことは、社会人の姿をイメージする機会の一つとなるでしょう。

例えば、右のような進路希望達成のステップに従って、子供と共に考えていくのも一つの方法です。

進路希望達成の6つのステップ

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1 | 希望 | ～になりたい |
| 2 | 生きがい | ～のために |
| 3 | 社会的自立 | ～になるべきか |
| 4 | 方法 | ～になるには |
| 5 | 可能性 | ～になれるか |
| 6 | 意志 | ～になろう |
| | ↓ | |
| | 実現 | ～になる |

2 「合否」だけでなく「適否」を検討する

進路先の選択・決定にあたっては、合格できるかどうかだけでなく、子供が進学や就職するのにふさわしい進路先かどうかを、個性や適性、興味・関心などを踏まえて十分に検討しましょう。そのためには、進路先の情報をできるだけ多く入手し、子供の個性や適性を見つめるとともに、子供と一緒に考えることが必要です。

3 進路先の特色を把握させる

子供の希望している上級学校や職場の雰囲気、教育・仕事内容等の特色を把握させることが大切です。上級学校・職場訪問や体験入学、説明会等へ直接出かけたり、パンフレットやインターネット等で情報を入手したりすることも必要です。

また、その上級学校の在校生・卒業生や職場で働く人から、話を伺うことも、進路先を理解する一つの手立てとなるでしょう。自分の希望する職業や学校を見つけることが「やりがい」や「生きがい」を見つけることにつながります。なお、就職条件や入試制度は年度により変化します。詳細については、募集要項や学校案内等で必ず確認してください。

特色の把握

- 就職
仕事内容、雇用条件、待遇、雰囲気、規模、通勤手段及び時間等
- 進学
教育方針・校風、学習内容、入試及び進路状況、通学手段及び時間、習得できる資格等

4 十分に家庭で話し合いを重ね、最後は子供に決定させる

学校での進路相談だけでなく、家庭でも気持ちや時間にゆとりをもち、落ち着いて話し合う機会を設定することが大切です。保護者としての考えや期待を十分に伝えつつ、最後まで子供の意思を尊重する話し合いを心がけましょう。子供が主体的に進路をとらえることで、希望の実現に向けて努力する過程で困難に出合ったときに、「自分がこの進路を選んだのだから、自分で困難を乗り越えよう」と、自分の進路選択・決定に責任をもつ姿勢へと結びつくでしょう。

公立高等学校入学者選抜の制度は

どのようになっていますか？

A4 以下に、令和9年度入学者選抜について掲載します。なお、「検査内容」や「選抜方法」については、令和8年度入学者選抜の情報を掲載しております。

令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜（令和9年4月入学生）について

(1) 一般入学者選抜（本検査）

ア 日程

検査日：令和9年2月16日（火）及び17日（水）

発表日：令和9年3月2日（火）

イ 検査内容

第1日 国語（50分）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）

第2日 理科（50分）・社会（50分）・学校設定検査

※学校設定検査については、【面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題、その他の検査】のうちから一つ以上を実施する。

※定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。（教科数は各高等学校が定める。）

ウ 選抜方法

「調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「学力検査の成績」、「学校設定検査の結果」等の資料は原則として得点化するものとし、選抜のための各資料の得点を合計した総得点に基づき総合的に判定する。

(2) 特別入学者選抜（本検査）

・海外帰国生徒の特別入学者選抜

検査日：令和9年2月16日（火）

検査内容：国語（50分）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）・学校設定検査

・外国人の特別入学者選抜、中国等帰国生徒の特別入学者選抜、成人の特別入学者選抜

検査日：令和9年2月16日（火）

検査内容：面接及び作文（外国人の特別入学者選抜は、いずれも英語又は日本語による）

・連携型高等学校の特別入学者選抜

検査日：令和9年2月16日（火）及び17日（水）

検査内容：国語（50分）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）・面接

※特別入学者選抜それぞれの発表日は令和9年3月2日（火）です。

(3) 地域連携アクティブスクールの入学者選抜（本検査）、通信制の課程の一期入学者選抜（本検査）

検査日：令和9年2月16日（火）及び17日（水）

通信制の課程の一期入学者選抜は2月16日（火）のみ

検査内容：地域連携アクティブスクールの入学者選抜は、国語（50分）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）・学校設定検査を実施する。

通信制の課程の一期入学者選抜は、現行の内容（面接、作文）に準じて実施する。

発表日：令和9年3月2日（火）

※追検査について

対象者：やむを得ず本検査を全部又は一部受検することができなかった者が対象となる。

検査日：令和9年2月25日（木）

検査内容：本検査に準じて実施する。

検査場所：志願した高等学校で実施する。

発表日：令和9年3月2日（火）（本検査の結果と併せて発表）

○詳細は令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項で確認してください。

○生徒配付資料○

本市では、市内中学校の先生方が作成した以下の資料を用いて進路学習を進めています。ご家庭でお子さんと進路の話を進めるときに大いに役立ちます。ご活用ください。

■ 1・2年生用 キャリア教育ノート 「わたしの夢」

自分のことや生き方を考えるためのワークシートや進路学習に必要な資料を掲載。

■ 3年生用 進路選択の手引 「ハロー マイ フューチャー」

進路学習の考えをまとめる学習ノートと進路先決定までの手順や通学区域、上級学校一覧などの資料を掲載。